

平成30年12月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	平成30年12月26日(水) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第3委員会室		
出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	築瀬	眞知雄
	教育委員	油川	育子
	教育委員	武輪	節子
	教育委員	大庭	文武
事務局出席職員	教育部長	吉田	幸司
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	小笠原	徹
	図書館長	千葉	玲子
	博物館長	古里	淳
	学校教育課長	中村	雅臣
	教育指導課長	西山	康巳
	社会教育課長	工藤	浩範
	総合教育センター所長	本間	孝浩
	教育総務課参事	尾崎	紀子
	学校教育課参事	大坂	吉弘
	西地区給食センター所長	川口	晃司
	社会教育課参事	館合	裕之
	是川縄文館参事	小保内	裕之
	図書館副館長	掛端	真裕美

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、平成30年12月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、大庭委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等についてご報告いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

本日は議案の提出がありませんので、報告事項にまいります。

はじめに、「平成30年12月八戸市議会定例会一般質問事項について」は、事前に資料が配布されておりますので、委員の皆さんから質問がありましたらお願いします。

【平成30年12月八戸市議会定例会一般質問事項について（質疑応答）】

(大庭委員)

13ページ松橋議員の「JAMSTEC との連携について」の質問があったのですが、『「ちきゅう」たんけんクラブ』に、最近ジュニアだけではなくシニアも参加しての研究発表をもされております。この『「ちきゅう」たんけんクラブ』が、さらにJAMSTEC や関係団体との連携を深めながら、ぜひ将来的には海洋に関わる専門家、研究者が誕生してくれればよいと思いますので、ぜひ今後も充実・発展がされることを願っております。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほか、ありませんでしょうか。

(油川委員)

1ページの伊藤議員の質問についての感想を述べたいと思います。

八戸市が行っている幼児教育支援事業は、保護者や幼稚園、私立幼稚園の団体等が受け取る各補助金があり、バランスよく多大なる支援をいただいております。特に、私立幼稚園が受けています補助事業につきましては、国等が行っております補助事業に比べてみますと、補助対象経費、補助対象備品に対する要件が緩和されているために、子どものために本当に必要なものを購入することができております。教育基本法第11条の条文の一部に、「幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、

その振興に努めなければならない。」に合致していると思っており、これまでも同じような内容のお話をさせていただきましたが、改めてここで述べさせていただきました。

八戸市の幼児教育支援事業は、大変秀でた事業で、実際受けている者にとっては、とてもありがたく、直接幼児に関わっている、幼児のより良い成長につながっていると感じながら、日々生活を送っております。どうもありがとうございます。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。ほかに質問はございませんでしょうか。

(武輪委員)

私から1点、質問させていただきます。

8ページの「図書館の機能について」の「宅配サービスについて」ですが、教育委員会の今年度の視察研修で、調布市と大和市を視察させていただきましたが、調布市では本の宅配サービスを行っており、良い取り組みだと思いつながりながら、宅配サービスを市側だけでやるのではなく、ボランティアを募って宅配をしているということにも驚きました。八戸市としては、宅配のサービスについての問合せや、ニーズが現時点であるのでしょうか。お聞きしたいと思います。

(千葉 図書館長)

個人宅配サービスのニーズということですが、現在までのところでは、問合せは入っていない状況でございます。また、そういった声も聞かれていないような状況です。今後は実施に向けて、考えていきたいと思っております、いろいろな情報を収集しながら検討を重ねたいと思っております。

(武輪委員)

宅配サービスが今後出来れば良いなと思っておりますので、よろしく願います。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほかご質問はございませんか。

[なし]

次に、「学校給食試食会及び西地区給食センター見学会の開催について」事務局からの説明をお願いします。

【学校給食試食会及び西地区給食センター見学会の開催について】

(中村 学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(油川委員)

「開かれた学校給食」というものを目指して、そして、「地域とともに健康な子どもを育てよう」という

職員の皆様が一丸となって、意欲的に仕事と向き合っているなという様子を垣間見ることができました。1月29日の様子がどうだったのか、様子を伺うのがとても楽しみです。よろしく願いいたします。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。そのほかご質問はございませんか。

(築瀬委員)

学校給食、食の関心を高めるには、市民に向けた良い機会だなと思います。

教育委員もオープン時に見学をさせていただきましたが、感動しました。前回の油川委員の見学の話もありましたが、私も団体見学としては先日お邪魔しまして、勉強させていただきました。職員の皆様にお世話になりました。丁寧な説明や、職員の対応がとても良い印象を与えてくれたと思います。子どもだけではなく指導者側にも良い勉強になりました。給食センターだけではなく、学校給食や教育委員会に対する理解も深まるのではないかと、期待しているところです。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。そのほかありませんか。

[なし]

次に、「マイブック推進事業」について」事務局からの説明をお願いします。

【「マイブック推進事業」について】

(西山 教育指導課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(築瀬委員)

5年間、私はこの事業について本会議で取り上げてきました。それだけ期待感を持っております。5年間の事務局のご努力に感謝を申し上げたいと思います。今日は2点お話しさせていただきます。

1点目は、「出張ブックトーク」でのブックリストの活用について、とても良い取組みだと思います。八戸ブックセンター職員がブックリストを活用して、各学校でブックトークを行う一連の流れが、素晴らしく思いました。10校で実施したということですが、更なる広がりを期待しています。新聞等でも取り上げられているので、かなりの効果があったのではないかと思います。

2点目ですが、書店との連携というのが大事な視点だと思います。今回も資料の中にたくさん写真が載っていますが、1年目、2年目と比べても格段と良くなってきています。子どもと一緒に読書を楽しむという、書店の方々の意気込みが感じられて、とても良いつながりだと思っています。各書店から今まで様々な意見等が挙がってきて、その都度、改善して工夫等を重ねられてきた結果が今回の成果だと思っています。今後とも書店との連携も深められていかれたらいいと思います。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。そのほか質問等はございませんか。

(大庭委員)

5年目ということでこれまでいろいろな改善を加えながら、市民に定着してきているということで、労いと感謝を申し上げます。

資料8ページの「今年度の趣旨の一部変更」に関連して、「学区内に書店がある場合は各校の判断により、保護者同伴ではなくて児童だけ書店へ行くことも可能にする」ということは、保護者がどうしても行けなかった場合、クーポンが使えず本が買えなかったということを守るためにも、この変更は良いことだと思っております。

質問ですけれども、10ページになります。細かいアンケートの集計に取り組んでいただいておりますが、現場の先生方がアンケートの集計に負担感を感じているのではないかと気になっていたところでした。今回からアンケートの実施方法が変更になり、QRコードで対応したことによって、保護者には抵抗感などはないのでしょうか。

(西山 教育指導課長)

スマートフォン等の普及により、保護者の皆様が使い慣れている現状もあるため、現時点で抵抗感を感じているという意見はございません。

(大庭委員)

わかりました。ありがとうございます。

次に、築瀬委員さんからもありましたが11ページのブックリストについて、保護者アンケートの中に、「ブックリストで紹介している本のなかで、購入した本はありますか。」という質問に対して、圧倒的に「ない」との回答が多い。一方、「ブックリストは購入する本を選ぶ際に参考になりましたか。」という質問に対しては、約6割が「参考になった」と肯定的であります。このギャップが大きく感じました。「ブックリストは参考になった」に対して、「ブックリストのなかから購入した」が1割、この現状はどう理解したらいいのでしょうか。おそらく今回の結果を踏まえて、今後ブックリストの内容を検討していくことになるのだと思いますが、考えられることはどういうことでしょうか。

(西山 教育指導課長)

昨年度と比較して、若干「購入した本がある」という数字が上がってきているということは、作成したブックリストが昨年度よりは活用されていると思います。

しかし、「購入したい本がない」という声が多くなっています。実際に書店へ行ってブックリストを参考にしてみたのですが、どちらかという他に欲しい本が見つかった、という捉え方ができるのではないかなと考えています。

今後さらにブックセンターや書店等と連携しながら、より良い本を選んでいく方向で進めてまいりたいと思っております。

(大庭委員)

ありがとうございます。

確かに、参考にしたけれど他の本が欲しくなったということかもしれませんが、せっかくブックリストを作成しているので、紹介している本を買ってもらえるとブックリストの効果があるのかなと思いますので、検討していただきたいと思います。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。そのほかご質問等ありませんか。

(武輪委員)

マイブック推進事業は5年目ということで、かなり改善点が画期的だったと感じております。この改善点もこれまでの課題、要望を踏まえてかなり反映させていることが素晴らしいなと思いました。昨年度の報告書の課題をしっかりとアンケートに反映させている。とても良かったと思っています。

「クーポンを全く使用しなかった児童の割合の推移」で、今年は2.7%の307名ということで、307名の中には「忘れていた」など、理由は多様だと思えます。5年間の中で一度もクーポンを使って本を購入しなかった児童がいないといいなと感じて、この数値を見ておりました。数値を「0（ゼロ）」にするのはとても難しいと思いますが、ぜひ自分の欲しい本を手にとって欲しいという思いがありますので、数値が「0（ゼロ）」になるように手立てを考えて欲しいと思います。

この事業がさらに良いものになっていくように、学校側から児童や保護者への周知・理解を徹底していただきたいと思えますし、参加書店の協力も大切なことですので、これにつきましてもさらにお願ひしたいと思えます。

関連して1点お話ししたいことがあります。八戸工業大学との公開講座の中で「住みたい家・住みたい街コンクール」というのがございます。そのなかで、今年は吹上小学校の八森さんという方が最優秀作品に選ばれたのですが、それが「本のまち八戸未来予想図」というものでした。少し紹介させていただきたいのですが、「私は本が好きです。『本のまち八戸』をもっと盛り上げるために、中心街にブックセンターが出来ましたが、小学生の私には大人すぎると思い、水産科学館と図書館のコラボ施設になればいいな」と思い、魚などを見ていろいろ体験し、本で調べ、お年寄りには魚を眺めながら本を読み、リラックスできる場所が出来たらいいな」という、コメントがあったのですけれども、「本が好きです。」と一番最初にコメントがあったところも、とてもうれしく思いました。「本のまち八戸」というのを小学生の子どもたちも意識しながら、マイブッククーポンの効果もあって、本がさらに好きになってきているのだと思います。この「本のまち八戸未来予想図」が描いたのを見た時に、様々な場面で、効果が出ていると感じましたので、さらにブックセンターを含めて、「本のまち八戸」が広がっていけばいいなと思っております。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほかご質問ありませんか。

(油川委員)

この事業を最大限に生かすために、毎年細かい分析を重ねてくださいます、ありがとうございます。

文部科学省が4月に策定した「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」のなかで「読書を行っていない高校生の中には、中学校までに読書習慣が形成されていない傾向がみられることから、将来にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣が形成されるには、乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動が行われることが重要である。」といった趣旨の内容がございます。将来、本が好きになるかどうかは幼児期の読み聞かせで決まるということを身に染みて感じました。幼児教育に携わっている者としては、この重責を果たさなければならないと改めて感じているところです。

しかしながら一方で、別の課題もあるようです。幼児期から小学校低学年までは本が好きだったのが、中学校から本を読まない子どもが増えているとも言われているそうです。中学生、小学校中学年以降、本離れにならないことも課題として挙げられているなか、このマイブック推進事業は、その課題に向き合った取り組みでもあるなと思いました。

5年間の成果というものは、目に見えにくいものだと思いますけれども、確実にその成果を上げているものと思っております。より良い効果を上げるために改善を重ね、5年間努力をしてくださった皆様、誠にありがとうございました。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほかございませんか。

[なし]

全委員からお言葉を頂戴しました。これは、マイブック推進事業だけではなく、どの事業についても言えることですが、なにも改善等をしていかないと、事業の成果は良くなっていくことはありません。毎回、改善をして、市民の声や実績等を分析していくことが、今回のような5年間の成果につながっているのだと思います。担当がどれだけ苦心をしてこの事業を軌道に乗せようとしているか、その本気度が問われるものです。これはマイブック推進事業だけではなく、すべての事業に共通することだと思います。全委員から高い評価をいただきましたので、次のステージもブラッシュアップして頑張ってくださいと思います。

次に、「史跡根城跡保存活用計画書（改訂版）」の刊行について事務局からの説明をお願いします。

【「史跡根城跡保存活用計画書（改訂版）」の刊行について】

(工藤 社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

それでは最後に「その他」ですが、今年最後の教育委員会定例会ですので、委員の皆様から1人ずつご挨拶を頂戴したいと思います。

まずは武輪委員から順番にお願いしたいと思います。

(武輪委員)

本年も大変お世話になりました、ありがとうございます。毎回この教育委員会に出席して、市庁の玄関に入って階段を上がり、ドキドキして緊張しながらこの場に臨むわけですが、これまで教育委員として関わってきて、本当に皆様方それぞれのお仕事を1つ1つ丁寧に、熱心にやっていただいているなど、毎年毎年感じながら、教育委員として勤めております。教育委員会や様々な行事等に参加した後、自分なりに反省して、「これで良いのかな」と思いながら過ごしております。「今日は良かったな」と思ったのは一回くらいしかありません。毎年毎年反省しながらではありますが、常に前を向いて、少しでも進歩できるようにしたいと感じております。

実はこのように思えるのも、やはり健康第一であると思っています。健康面において、少しでも不安があると、気持ちが前向きになれない。不安を思いながら過ごすというのは、とても大変だと思った一年でありました。健康で過ごすことを第一に来年もまたお世話になります。今年一年ありがとうございました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。続きまして築瀬委員をお願いします。

(築瀬委員)

今年の漢字は「災」だったそうですが、「災い転じて福となす」ですので、来年は皆さんが少しでも福がくるように願っています。事務局の皆様はお疲れだと思いますので、年末年始はゆっくりお休みください。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。それでは油川委員をお願いします。

(油川委員)

今年1年間、誠にありがとうございました。そして皆様大変お疲れ様でした。本日私、本会議に向かう前に、市庁の前にあります横断歩道の前に立っておりました。そうしたら右手から移動図書館車が来まして、そして静かに止まってくださいました。私は温かい気持ちでこの会議室に入りました。教育委員会のなかには様々な職種の方がいらっしゃると思いますが、その責務を全うするために伊藤教育長先頭に、心を込めて一生懸命勤めておられる、そんな様子を垣間見たのではないかなと思います。本日の教育長のごあいさつのなかで、「本当に人々が幸せを感じているのかどうか」、常に追求しておられる教育長の理念というものが教育委員会の皆様お一人お一人に浸透しているのではないかと思います。

年末年始は仕事を忘れて、ゆっくり休んでいただき、来年に向けて英気を養っていただきたいと思います。新しい年は猪年の「猪突猛進」ということで、伊藤教育長を先頭に皆様方、励んでいただけたらと思います。来年もどうぞよろしくお願いたします。今年1年間、どうもありがとうございました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。最後に大庭委員お願いします。

(大庭委員)

1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

八戸市教育委員会独自の物も含めまして、各部署の各担当者からその都度、丁寧な情報提供、説明をいただきました。様々な場面で教育における取り組み、貴重な勤めをされているのだと感じさせていただいております。

また、学校訪問においては、現場の先生方は本当に一生懸命に子どもと向き合いながら取り組んでいる姿を参観させていただきました。感謝をしております。

今の子どもたちが社会に出る10年、20年後は、今の職業が半減するといわれています。そういうなかで、義務教育で培った「力」をもとに、自分で自分を高めていく「力」がますます求められていく時代になるだろうと思っております。風力で空に上がる「凧型人間」ではなくて、「凧」というのは空の状況が変わるとすぐ墜落しますが、そうではなくて、自分の意志で力を蓄えて飛んでいくという「鳥型人間」として子どもたちが巣立っていけるように、力添えできればという思いで、勤めさせていただいております。本当にこの一年間苦勞が多かったと思いますが、年末年始は肩の力を抜いて過ごしていただければと思います。

1年間、どうもありがとうございました。

(伊藤教育長)

委員の皆様には急なお願いにも関わらずご挨拶いただきまして、ありがとうございました。

閉 会

(伊藤教育長)

それではこれをもちまして平成30年12月の教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後2時44分閉会)